

ノーザンハイブッシュブルーベリー「ディユーク」・「レガシー」の長果枝利用による大粒果実生産技術			
[要約] ノーザンハイブッシュブルーベリーの「ディユーク」・「レガシー」は、冬期に短果枝と中果枝をせん除し、長果枝を残すせん定を行うことで、結果した果実の一果重・果径が増加する。			
農業総合センター山間地帯特産指導所	平成25年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

ノーザンハイブッシュブルーベリー栽培では、主に冬期せん定により結果枝数及び花芽数を調整しているが、せん定強度と果実特性・樹勢の関係性には不明な点が多く、生産現場では着果過剰による小粒化や樹勢低下等の問題が生じている。そこで、大粒果実の安定生産が可能な整枝せん定法を明らかにするため、結果枝のせん定強度が果実形質・収量、新梢発生本数に及ぼす影響を検討する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ディユーク」・「レガシー」の一果重・果径は、冬期せん定時に中・短果枝をせん除し長果枝を残すせん定（以下せん定：強区）を行うと、短果枝をせん除し中・長果枝を残すせん定（以下せん定：中区）よりも増加する傾向を示す（表1）。
- 2) 「ディユーク」・「レガシー」の果実糖度・酸度は、年次変動があるものの、せん定強度に関わらずほぼ同等である（表2）。
- 3) 「ディユーク」・「レガシー」の収量は、年次変動があるものの、調査を実施した3箇年の平均では、せん定：強区、せん定：中区ともに基準収量（1樹当たり2,500g、H20県果樹栽培基準）を上回っている（表3）。
- 4) 「ディユーク」では、せん定：強区で、せん定：中区よりも次年度に発生する長果枝の割合が増加する傾向を示す（表4）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果は県下全域で適用可能である。
- 2) 収穫調査開始時における供試品種の樹齢は、「ディユーク」：8年生株、「レガシー」：8年生株である。また、供試品種の栽植密度は200株/10aである。
- 3) 試験に用いた結果枝の分類は以下のとおりである。
短果枝：長さ10cm未満の結果枝
中果枝：長さ10cm以上20cm未満の結果枝
長果枝：長さ20cm以上の結果枝
- 4) せん定：強区、せん定：中区ともに、冬期せん定時においては、結果枝のせん定と併せて花芽が着生していない強い新梢（シュート）を1/3程度の長さのせん定している。また、短果枝しか着生していない弱勢化した古枝は適宜せん除した条件での結果である。
- 5) 他のノーザンハイブッシュブルーベリー品種における本成果の適用性は不明であり、産地において品種毎に実証試験を行う必要がある。

4. 具体的データ

表1 一果重及び果径の推移

供試品種	処理区分	一果重(g)				果径(mm)			
		H23	H24	H25	平均	H23	H24	H25	平均
ディユーク	せん定:強区	2.20	2.16	2.32	2.23	17.1	17.8	17.3	17.4
	せん定:中区	1.65	2.05	2.24	1.98	15.1	17.2	16.8	16.4
レガシー	せん定:強区	1.90	2.23	2.29	2.14	16.0	17.7	17.9	17.2
	せん定:中区	1.45	2.14	1.97	1.85	14.5	17.4	16.2	16.0

注) 果径: 対収量加重平均(収穫日ごとに任意の20粒を測定) N=2

表2 糖度及び酸度の推移

供試品種	処理区分	糖度(brix%)				酸度(pH)			
		H23	H24	H25	平均	H23	H24	H25	平均
ディユーク	せん定:強区	10.4	11.9	12.1	11.5	3.74	2.94	3.62	3.43
	せん定:中区	9.7	11.9	12.8	11.5	3.70	2.98	3.80	3.49
レガシー	せん定:強区	11.2	12.8	13.5	12.5	3.09	2.79	2.84	2.91
	せん定:中区	11.3	12.6	13.0	12.3	3.19	2.82	2.85	2.95

注) 糖度・酸度: 収穫日ごとに20粒前後の果実を磨砕し, 糖度計により brix%を, pH計により pHを測定した N=2

表3 収量の推移

供試品種	処理区分	収量(g/樹)				果数(個/樹)			
		H23	H24	H25	平均	H23	H24	H25	平均
ディユーク	せん定:強区	4,562	2,012	3,625	3,400	2,072	931	1,580	1,528
	せん定:中区	5,840	3,448	3,528	4,272	3,484	1,681	1,581	2,249
レガシー	せん定:強区	4,733	4,690	2,848	4,090	2,469	2,102	1,249	1,940
	せん定:中区	3,059	4,089	3,932	3,693	2,039	1,907	2,002	1,983

注) N=2

表4 新梢発生数の推移

供試品種	処理区分	新梢発生数(本/樹(%))								
		H24.1月			H25.1月			H26.1月		
		短果枝	中果枝	長果枝	短果枝	中果枝	長果枝	短果枝	中果枝	長果枝
ディユーク	せん定:強区	319(69)	75(16)	70(15)	334(65)	108(21)	69(13)	311(50)	213(34)	94(15)
	せん定:中区	647(85)	83(11)	34(5)	543(85)	72(11)	28(4)	324(65)	138(28)	34(7)
レガシー	せん定:強区	840(86)	58(7)	74(8)	996(78)	181(14)	95(7)	702(72)	196(20)	76(8)
	せん定:中区	759(86)	65(8)	60(7)	919(81)	133(12)	82(7)	1,302(86)	154(10)	53(4)

注) 新梢の区分: 10 cm未満-短果枝, 10 cm以上20 cm未満-中果枝, 20 cm以上-長果枝
新梢発生数の%値は小数点以下四捨五入により合計値が100%とならないことがある N=2

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

ブルーベリー高品質安定生産技術の確立、平成23~25年度、山間地帯特産指導所